

2013年3月23日
平成24年度在宅医療連携拠点事業成果報告会

あおぞら診療所 今年度の活動概要

医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所

川越 正平、友松 郁子、山口 朱見

山崎 浩二、中里 和弘、片山 史絵

今年度行った主な拠点活動

- ① ホームページの開設
- ② 連携拠点事業者意見交換会の開催
- ③ 映像教材「在宅医療の風」の製作
- ④ 医療と介護の連携に関する基礎知識講習会
- ⑤ ケアプラン作成最強支援ツール＜デイサービス編＞

ホームページ開設による在宅医療連携 拠点活動のオープンソース化

【背景】

実施手順書は大まかな枠組みの呈示にとどまっている。一方、全国105か所の拠点が実際にどのような活動を展開しているのかについての情報発信は今のところ十分とは言えない。

【方法】

2012年8月に拠点活動を紹介するHPを開設した。アクセス解析ツールを用いて、HPへのアクセス状況やファイルのダウンロード状況について検討した。

【結果】

3月7日までの合計訪問者数14,022、ページヒット数43,887、ファイルヒット数504,519にのぼった。

ホームページ開設による在宅医療連携 拠点活動のオープンソース化

ファイルのダウンロード状況(2012年8月24日～2013年3月7日)

順位	ファイル名	回数
1	マニュアル「訪問薬剤管理指導 はじめの一步」	1466
2	第14回日本在宅医学会大会ワークショップ 発表スライド	393
3	第8回多職種合同カンファレンスの案内	373
3	薬局連絡会総会 講義スライド(2012) 「在宅医療における薬剤師の現状とこれから」	373
5	平成23年度成果報告会 発表スライド	360

ホームページ開設による在宅医療連携 拠点活動のオープンソース化

ファイルのダウンロード状況(2012年8月24日～2013年3月7日)

順位	ファイル名	回数
6	薬局連絡会総会 発表スライド(2012) 「在宅患者の処方箋に遅滞なく対応する」	330
7	(論文)川越正平(2011) 日本医事新報 No.4572: p.46-51 「在宅医療 はじめの一步:在宅医療を支える地域の資源」	292
8	第1回杉浦地域医療振興賞 受賞式発表スライド(2012) 「歯科医師等と在宅医療連携拠点が構築する医科歯科連携促進」	272
9	(取材記事)川越正平(2012)「多職種合同カンファレンスで 『顔の見える関係』を深め各専門職の多様な視点を体感、 理解する」、Visionと戦略 p.11-14	261
10	診診連携システムの類型化 スライド	253

ホームページ開設による在宅医療連携 拠点活動のオープンソース化

【考 察】

HPを開設したところ、数多くのファイルが閲覧、ダウンロードされた。

その関心は薬剤師活動、事業概要、多職種合同カンファレンス、地域資源、歯科連携活動、診診連携など、多彩な領域に広がっていた。

数多くの拠点の活動内容を早い時点で具体的に把握することによって汎用性の高い手法や活動指針を見出すことは[拠点活動のオープンソース化](#)と呼びうる効果的な戦略と言える。

ケアマネジメントに資する地域の資源に関する詳細な情報の把握と共有化

【背景】

同一地域内に多数の介護サービスがある中で、利用者の希望をふまえ、かつ公平・平等な視点からケアプランを作成するためにケアマネジャーは 詳細な情報を必要としている。

デイサービスを例に挙げると、おやつ代等自己負担額や宿泊サービスの有無、対応可能な医療といった“ロコミ情報”の収集はケアプラン立案にあたり有益な情報だが、これまでのところ個人的努力に依拠している。

【方法】

平成23年6月に市内のケアマネジャーに呼び掛けを行い発足させた「在宅医療連携ケアマネジャー連絡会」世話人会が中心となり、FAX等でアンケート調査を行った。

松戸市内にある103の通所介護事業所(2012年 6月時点)のうち94箇所(91.3%)から回答を得て、『ケアプラン作成最強支援ツール』(2012)という小冊子を刊行する形に発展した。

ケアマネジメントに資する地域の資源に関する詳細な情報の把握と共有化

ケアプラン作成最強支援ツール<デイサービス編>



ケアマネジメントに資する地域の資源に関する詳細な情報の把握と共有化

ケアプラン作成最強支援ツール<デイサービス編>

調査票
(記入例)

デイサービス@@@										松戸市松戸0000												
事業所番号		1271200000				TEL		047-777-0000				Fax		047-777-0000								
メールアドレス										kuchikomi@kaigo.co.jp												
曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝	予防	自費	食事代		その他費用			泊まり		泊まり費用				
	○	○	○	○	○			○	○		¥580	おやつ100円 アクティビティ材料費100円/回			無							
体	時間	5 ~ 7h			・9:30 ~			・16:00			機能訓練	PT	OT	ST	柔整師		看護師		平行棒			
		3 ~ 5h			・9:30 ~			・13:00							定員 18人		3名		1名		エアロバイク	
					・13:45 ~			・17:00							定員 20人						ウォーキングマシン	
制	医療	胃ろう		気管切開		吸引		インスリン		制限食		ミネラル		入浴	一般浴		機械浴		個別浴		ストレッチャー	
		○		○		○		○		○		○			○							
		在宅酸素		IVH		創処置		バルーン		人工肛門		麻薬										
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・半日（午前、午後）と1日のデイサービスを同時に行っています。 ・半日は自分から機能訓練を積極的に行いたい方、1日はお風呂に入っのんびりと過ごしたい方に来て頂いています。 ・半日はマッサージ師の機能訓練、1日は機能訓練の加算はありませんが、看護師とアロマセラピストによるマッサージがあり、心の癒しを大切にしています。 										加算	半日		・機能訓練加算		1日		・入浴加算				

ケアマネジメントに資する地域の資源に関する詳細な情報の把握と共有化

【考 察】

- ▶ ケアマネジメントに資する情報を網羅的に整理した冊子の存在は、CMにとって情報収集業務の効率化やケアマネジメントの質向上につながりうる。
- ▶ 拠点にとっては、地域において医療と介護の連携に関する相談事業等を展開するにあたり貴重な情報源となる。
- ▶ 各サービス事業所にとって、他の事業所の取り組みを把握し、自施設のサービス向上に役立てる展開が期待される。
- ▶ メールアドレスの把握は、利用者の活用のみならず、冊子の改訂の際の効率的な連絡手段になることが期待される。